

2006年7月3日

株式会社フィスコ (3807 大証ヘラクレス)

「フィスコ」トップアナリストチームが、毎週注目銘柄を、 「ALL 証券比較」に提供

フィスコのトップアナリスト陣が、7月3日(月)より株式情報コラム「フィスコトップアナリストチームの週間注目銘柄」を、SBIホールディングスが運営するウェブサイト「ALL 証券比較」に提供開始しました。

昨今、ネット証券を中心に株式取引口座の開設数が急増しています。しかしながら「銘柄をどうやって選べばいいかわからない」ため、行動に移せない投資初心者も多く、そのサポートは証券業界において急務とされています。当情報の提供目的は、投資初心者の皆様に、株式投資の世界に踏み出していただく、最初の一歩目をバックアップすることです。

株式会社フィスコ(代表取締役:三木茂、本社:東京都千代田区)は、SBIホールディングス株式会社(代表取締役 執行役員 CEO:北尾吉孝 本社:東京都港区)が運営する証券会社サービス比較サイト「ALL 証券比較」に、株式情報コラム「フィスコトップアナリストチームの週間注目銘柄」を提供します。「ALL 証券比較」専用リサーチのうえ書き下ろし、毎週月曜日に更新します。

当コラムの想定読者は、株式投資の初心者の方であり、なかでも最近目立って増えている女性投資家の目を意識しています。そこで最大の特徴は、「一般生活者の目線」に立って、普通の言葉で「わかりやすく」解説すること。株式投資における原則「自分が理解できる銘柄を選ぶ」を実践していただくため、キラリと光った注目銘柄をズバリと紹介したうえで、選んだ理由や背景にある社会情勢、他社株式と比較検討するための発想の展開方法まで、明快にキツパリと解説します。

第一回目の執筆者は、フィスコの若手アナリスト高橋明子。ハードワークの中でも常にパーフェクトなネイルを維持する、仕事もオシャレも手抜きなしの彼女が、そのバランス感覚で、女性が思わずうなずきそうな納得銘柄を発掘していきます。もちろん、男性にもぜひお読みいただきたい。奥様や彼女との話題に おすすめですし、きっと、あなたの「株」が上がります。

<http://www.allshokenhikaku.jp/column/column.php?tk=fisco&cpage=20060703>

「ALL 証券比較」について URL: <http://www.allshokenhikaku.jp/>

証券取引口座を開設するにあたり、事前に証券会社サービス比較サイトの情報を参考にする個人利用者が増加しています。これまでの比較サイトは、証券会社のサービス比較情報の提供とともに、資料請求から口座開設への誘導を目的として完結するものでした。「ALL 証券比較」は他社と一線を画す存在となるため、口座開設後にも継続して利用できる付加価値のある情報サービスを提供します。

株式会社フィスコ 会社概要 URL: <http://www.fisco.co.jp/>

社名:株式会社フィスコ(大証ヘラクレス:3807)(英文表記:FISCO Ltd.)

本社所在地:〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目1番28号 九段ファーストプレイス7階

設立:1995年5月 資本金:703百万円 代表者:代表取締役 三木 茂

事業内容:金融プロフェッショナル向けリアルタイム情報配信事業

情報サービス事業(法人向け情報及び個人向け情報)

コンサルティング事業(投資の運用及び事務管理を含む)及び教育事業

この件に関わるお問い合わせ

株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp> 広報室:服部 adminir@fisco.co.jp

TEL:03-5212-8790 FAX:03-5212-8787

証券会社を比較して資料請求

ALL証券比較

証券会社サービス比較

必見！
 フィスコトップアナリスト週間注目銘柄

・新・ネット世代に注目
 毎週月曜日更新 コラム二覧

2006年の注目情報

レジャーホテルは
 なぜ高収益なんだろう？

PR情報



ALL証券比較のイチオシ

- No.1 オリックス証券**
 無期限信用取引手数料は約定代金にかかわらず一律300円！今なら信用取引口座無料開設キャンペーン中！
- No.2 丸三証券**
 マルサネットは、新規の口座開設から、2ヶ月間、株式手数料無料です
- No.3 マネックス証券**
 リーズナブルな手数料でハイクオリティのサービスを マネックス証券

証券会社の簡易資料請求！

3分で資料請求！
 早速、下のボタンを押してスタート！
簡易資料請求参加会社:1社
簡易資料請求(無料)
 → 簡易資料請求とは？

Gómez **Gómez証券サイトランキング**
 詳細はこちら

- このサイトの使い方
- 証券用語集
- よくあるご質問
- 資料請求参加会社一覧

簡易資料請求利用規約 | 個人情報保護方針 | お問い合わせ

フィスコトップアナリストチームの週間注目銘柄 ～ALL証券比較書き下ろし～

新・ネット世代に注目

先週の日経平均は、米FOMCなどのイベントを控えて、もみ合う展開が続きました。そして金曜日、FOMC通過による米株高を受けて、日本株も急伸。結局、先週末比381.14円高で取引を終えました。先週の大きな話題は、相次ぐ大規模なファイナンス発表。27日にはエルビータメモリ(6665)と牧野フライス(6135)が、翌日には新日鉱HD(5016)が、設備投資等を目的とした公募増資を発表。特にエルビータの調達額は最大1400億円超、発行済株式総数に対して33%程にあたる、大規模なものです。需給悪化懸念から、翌日のエルビータ株は急落。前日の米株安とのダブルパンチで、日経平均は大幅安となりました。

そして先週末の引け後、JAL(9205)がファイナンスを発表。その額なんと2000億円超！例年、株主総会後の7～9月にかけてファイナンスを発表する会社が増えることから、暫くは企業発表に要注意です。

ところで、話題をもう一つ。それは「7人の侍」です。先週27日に、米CNBCテレビの投資番組で、「カリスマ株コメンテーター」のジム・クレイマー氏が日本株7銘柄を推奨したというもの。その銘柄とは、三菱UFJ(8306)、キリン(2503)、トヨタ(7203)などの主力株が中心で、クレイマー氏は日本のファンダメンタルズの改善を前向きに評価してくれているようです。

ところで「7人の侍」と言えば、「第3世代IT・7大社長」も、一部雑誌で取り上げられて話題。ドリコム(3793)、オウケイウェイブ(3808)、ミクシィ、はてな、ウェブシャーク、ペーパーボーイアンドコー、グリーの社長の面々です。日経平均が軟調な展開を続ける中でも、ドリコムの株価はここ1ヶ月で2倍超まで上昇しました。

今回の「7人の侍」には含まれていませんが、個人的には、アドウェイズ(2489)の岡村社長にも注目しています。最年少上場社長、そして上場日の誤発注騒動と、話題は事欠きません。「ネタの豊富さ」、これも株価動意に欠かせない要素ではないでしょうか。

8人目の侍になり得るか、若しくは第4世代の先駆者となるか。新しいネット世代に注目です。

株式会社フィスコ 高橋明子

2006年7月3日



株式会社フィスコ 高橋 明子(たかはし あきこ)

担当 株式市場・新興市場

信条 銀行員時代は、融資を始め投信や生命保険等での運用業務など、資産形成に欠かせない金融商品を幅広く担当していました。マーケットと個人投資家の方々の橋渡しになれるよう、分かりやすい情報の配信を心がけています。

経歴 都銀勤務を経て、2005年フィスコへ入社。

有益な情報を提供するクラブフィスコ

投資と資産形成について考え行動する皆様へのレポート情報提供・販売を目的とする会員制サービスです。幅広くマーケットの分析情報を発信し続けるフィスコが、蓄積したノウハウと独自の相場観をもとに、投資家の皆様のパフォーマンス向上につながるコンテンツサービスをクラブ フィスコを通じてお届けします。

会員になりますとお得がいっぱい！詳しくはこちらをご覧ください。

コラム一覧へ戻る